

郵便サービス水準の評価等に関する研究会（第1回）議事要旨

1 日時

平成19年5月31日（木）14:00～16:00

2 場所

総務省11階1101会議室

3 出席者

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

井手 秀樹、大河内 美保、田尻 嗣夫、山下 穰、山本 渉

(2) 総務省

須田郵政行政局長、原口郵政行政局総務課長、佐藤郵便企画課長、坂入郵便企画課課長補佐

4 議題

- (1) 開催要綱について
- (2) 研究会の公開について
- (3) 郵便制度と事業の現状について
- (4) 研究会の進め方について
- (5) その他

5 議事概要

【座長の選任について】

- 田尻構成員を座長に選任。

【開催要綱及び研究会の公開について】

- 資料1及び資料2について事務局より説明し、了承を得た。

【郵便制度と事業の現状について】

- 資料3について事務局より説明。
- 質疑応答における構成員からの主な発言の内容は以下のとおり。
 - ・郵政民営化が行われてもひまわりサービスは継続されるのか。

【研究会の進め方について】

- 資料4について事務局より説明。
- 意見交換における構成員からの主な発言の内容は以下のとおり。
 - ・送達日数達成率は国際比較も可能であり有益な指標。
 - ・郵政行政消費者相談室でデータをとり蓄積していくことも大切。
 - ・郵便局にはどのくらいの苦情が寄せられているのか。公社自身がどの程度苦情処理の努力をしているのかも見るべきではないか。
 - ・モニタリングを行うことにより、国民の関心がどこにあるのか、国民が何を求めているのかを探るアンテナ機能が必要。

【その他】

- 次回会合については6月末日途に開催する方向で調整。

以上